

実践記録

86

シリーズ

子どもたちの体験の場「ふれあい・たいけん・公民館」

～公民館分館事業から～

上越市公民館 社会教育主事 片岡 由子

1 子どもが楽しい公民館

子どもが地域の中で楽しく活動できる場所「公民館」を定着させるべく、旧上越市内14地域にある各分館では、平成15年度より「ふれあい・たいけん・公民館」事業を行っています。文字通り子どもたちが「ふれあって」「たいけんする」公民館事業です。

各分館地域毎に年3回～4回にわたって実施しており、その都度、地域の人材・素材・声を取り入れた事業を展開しています。

- ・地元の川でのニジマス釣り体験
- ・昔のおやつおやき作り
- ・こけ玉作り
- ・ちぎり絵で年賀状作成 など

2 地域の力

公民館分館には、協力員と呼ばれる方が1名勤務しています。協力員は公民館事業を行う際、地域のニーズ・講師等の情報収集を行う等、分館活動を支えています。また、各分館に町内会・小学校・老人クラブ等の代表者5名を分館推進員として据え、協力員と共に内容検討を行い、地域住民講師の力も合わせ、地域発信で分館事業が行われています。

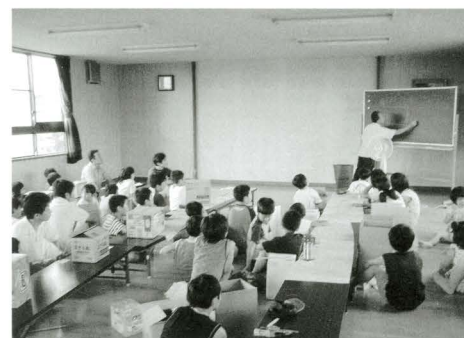
3 事例：「ピンホールカメラづくり」(和田分館)

子どもたちに「自分でカメラを作ってみよう」と声をかけました。自分でカメラが作れるのか、一体どんなカメラなのか「？」が多くあったようですが、たくさん子どもたちが集まってくれました。

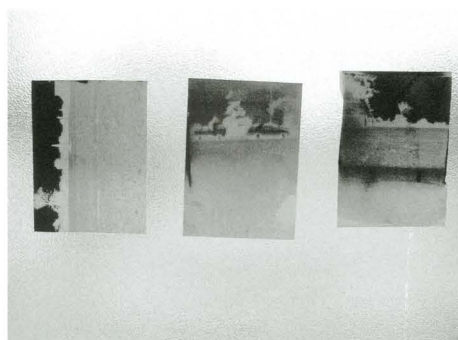
この講座をするきっかけは、地域の人材です。分館協力員がカメラに詳しく、また、機械でなくても写真を撮れるという体験をしてほしいという思いから始まり、ピンホールカメラ作成、ピンホールに光を取り入れての写真撮影、暗室を作ったの現像までを子どもたちが体験しました。カメラ作りに少し難しい所や、撮影に失敗した部分もありましたが、子どもたちは、写真が出来上がるまでのワクワク感や現像された写真を見ての驚きなど、普段できない体験ができたようです。

【各分館でのその他体験活動】

- ・手作り凧教室
- ・地場野菜を使ったヘルシークッキング教室
- ・おばあちゃんから教わる布ぞうり作り



ピンホールカメラ作成



現像した写真

4 これからの活動

子どもたちの体験の場として始まった「ふれあい・たいけん・公民館」は、平成17年度で3年目を迎えます。ようやく地域に定着しつつあり、公民館と地域の中で子どもに関係する機関が連携を取り合い、地域ぐるみで事業を展開するようになってきました。また、地域によっては、継続性を持たせるため、大学生のボランティアと共に、月に1回事業展開する試みも始まっています。

子ども対象事業は、様々な機関で内容も多様に行われています。公民館もその中の1つですが、一度講座に参加し様々な体験をすることで、将来に向けての職業観の形成や興味の広がり、地域の中での交流などを得られる場所として、また、子どもが週末活動する場の1選択肢として、今後も地域密着で事業展開したいと考えます。